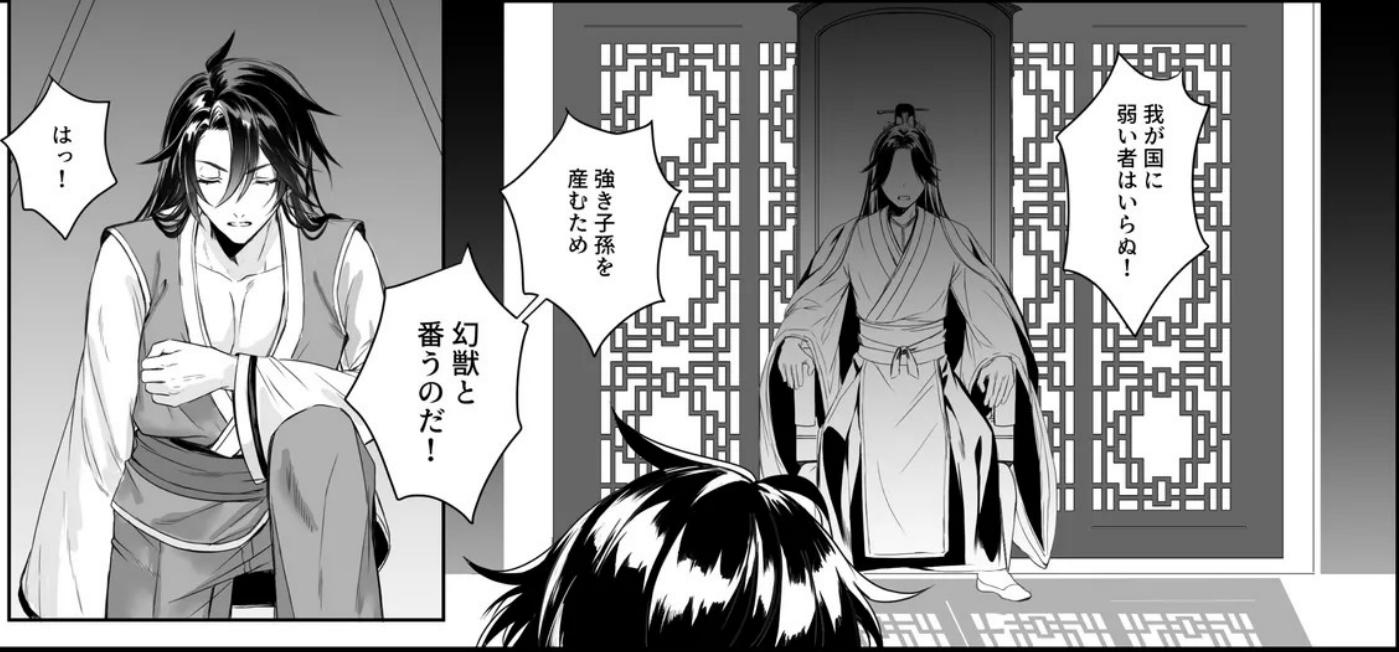


皇帝の子種をください





はっ!

幻獣と
番うのだ!

強き子孫を
産むため

我が国に
弱い者はいらぬ!



運命に
出会った

その日
俺は――

オホッ



現皇帝である
父からの命令で

俺は龍神の子を
妻に迎える
ことになった



そうだ



お嫁さん？
ぼくが？



うん！
いいよ！

ぼくが大きくなって
天籟が皇帝になったら
ぼく
天籟の
お嫁さんになる！



…他の誰にも
おまえは渡さない

おまえは
俺の妻になれ



…じゃあ
これは
約束の印だ
おまえに
皓月という
名を与えよう



こう
げっ…



はい…



数年後…

この良き日に
天籟さまは
皇帝に即位されました

皓月さまも
お役目を立派に
果たしてくださいませ



天籟さま…
本日は
誠におめでとう
ございます



堅苦しい
のはいい
皓月

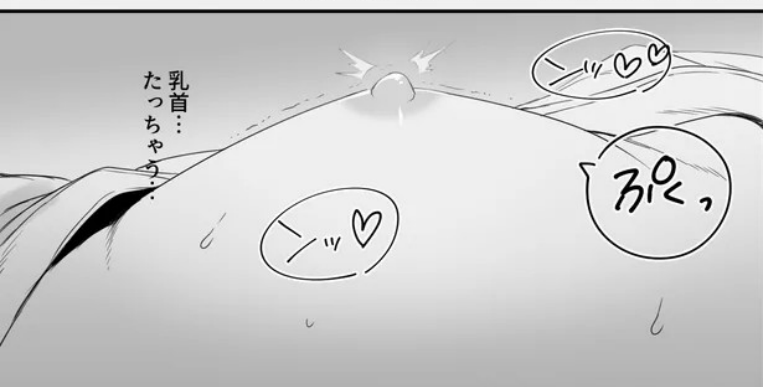
あ…



僕…あっ
わたくし皓月は

陛下の子を
産めることを
心より幸せに…

















かじ...♡

んっ♡

はうんっ...♡

♡ん♡

すっ...
天頼の濃いにおい

んっ...♡

ねっぶ...

♡ん♡



さあ...

...練習

と言ったか?



ろお...

むむむむ...

ちゅっ♡

♡ん♡

♡ん♡







どうした



天頼いっつ



天頼っ…

天頼っ…



嬉しいの…

僕やっと
天頼のお嫁さん
なれた…

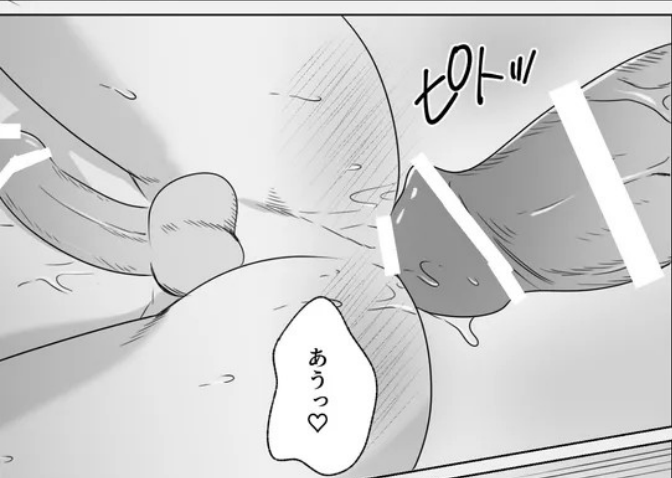


あの日…
君に名前を
もらってから



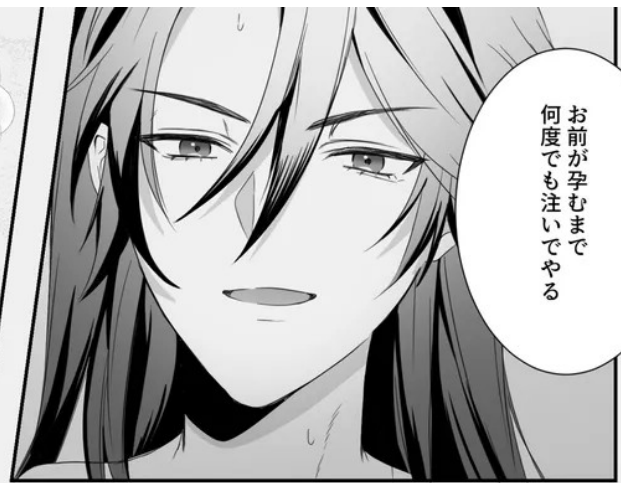
僕はずっと
この日を夢見てた







…ひゃっ…♡



お前が孕むまで
何度でも注いでやる



それ♡
それ
気持ちいいの♡

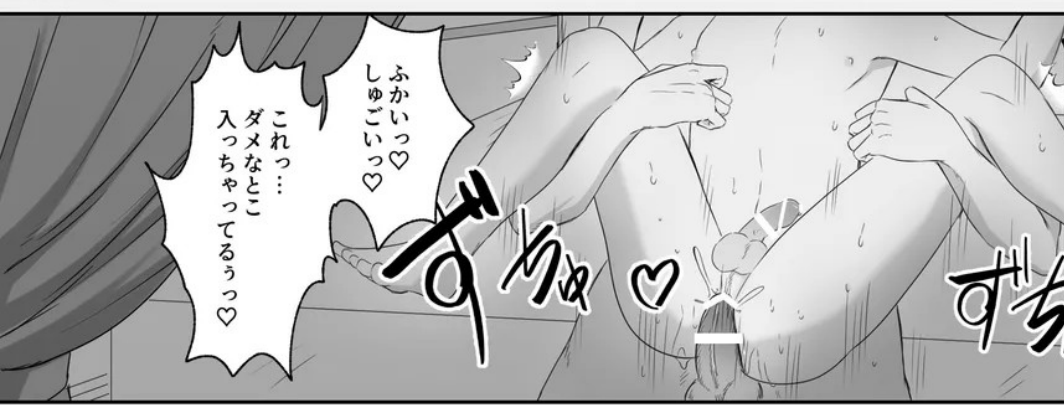
それ♡

あ♡

あ♡



あ♡
あ♡
あ♡



ふかい♡
しゅご♡
これっ…
ダメなところ
入っちゃってるう♡

あ♡

あ♡

あ♡

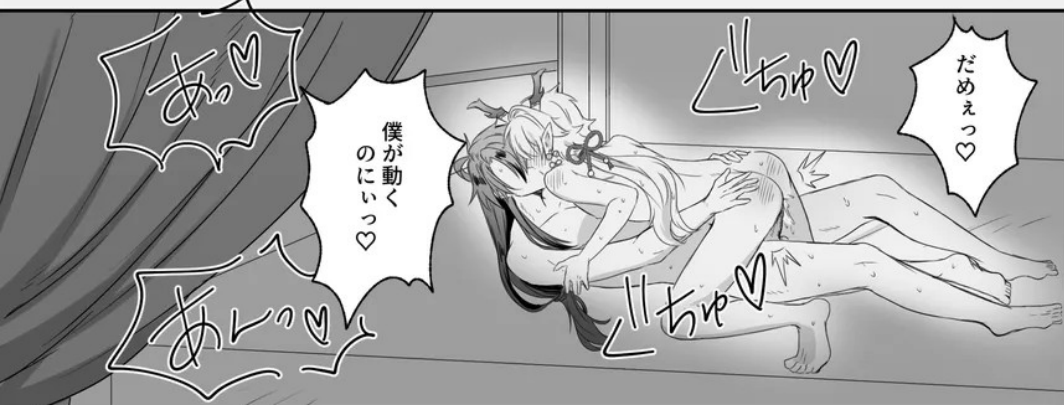


天籟
気持ちいい？

あ♡

ん♡
ん♡
ん♡

あ♡



あ♡

僕が動く
のに♡

だめえ♡

あ♡



はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

もお...

はっ

て、天籟...

はっ

見...

はっ



だめっだめだめ

ズンズンズン

はーっ

はーっ...♡

はーっ

産まれちゃうっ...♡

はーっ

はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
♡
♡



でも...
子供たちが
いるのに...



だってえ...♡



あんっ♡



そう言いながら
これはなんだ?



俺もだ
皓月



愛してる
...天籟



もっと...
もっと

天籟の子が
産みたい♡

淫乱で
ごめんなさい♡



あ♡

グキョ

あ♡



ピキッ

あ♡

あ♡

あ♡♡

